

2022年9月

竜王中学校給食室



9月は季節の行事がたくさんあります。季節の変わり目は気候の変化などにより体調を崩しやすいこともあり、無病息災・豊作などを願い、お供え物をするなど、邪気を祓う行事が生まれました。

ちょうよう せつく 重陽の節句 9月9日

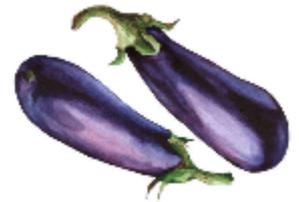


人日(1月7日), 上巳(桃の節句3月3日), 端午(こどもの日5月5日),

七夕(たなばた・7月7日), 重陽(9月9日)の5つを五節句といい、中国から伝わりました。

昔、中国では奇数を陽の数とし、陽の中で一番大きい数である「9」が重なる、9月9日は大変めでたい日とされ、菊の花びらを浮かべたお酒を飲んだりして邪気を払い長寿を願うという風習がありました。

日本には平安時代の初めに伝わり、宮中では菊を觀賞する宴が催され、「菊の節句」とも言われています。また、収穫の時期にもあたるため、庶民の間では「栗の節句」としてお祝いをしていたこともあり、菊の他に栗ご飯や旬の茄子を使った料理を食べる風習があります。9月9日の給食では、栗ごはん・揚げ茄子とさといもそぼろ和え・菊の花と身延産ゆばのすまし汁を出します。



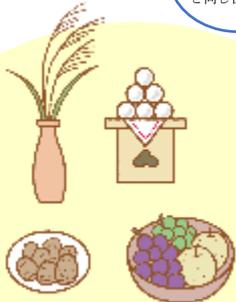
十五夜

9月9日

今年も重陽の節句と同じ日です。

「十五夜」ってなあに？

おもに月の満ち欠けをもとにして作られた昔の暦(旧暦)で、8月15日に当たる日です。夜は涼しく、空気も澄んでいることで、1年の中で一番美しい満月とされています。



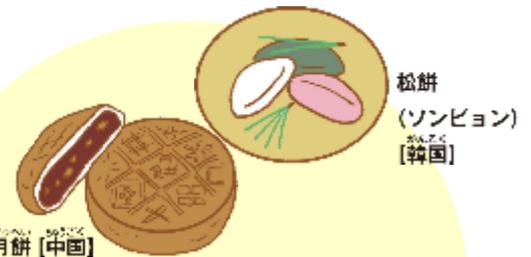
おそなえもの

月見団子、稲に見立てたすすき、収穫された農作物をお供えします。十五夜ときには、さといもをお供えすることが多く、別名「いも名月」とも呼ばれます。



日本だけの「十三夜」

日本だけに、十五夜の後もう一回、お月見があります。「十三夜」といい、旧暦の9月13日の月です。これは「後の月」とも呼ばれ、豆や栗をお供えすることから「豆名月」「栗名月」とも呼ばれています。



東アジアで共通のお祝いごと

十五夜は東アジア各地で祝われます。中国では「中秋節」、韓国では「秋夕(チュソク)」といいます。また、英語では、9月の満月を「ハーベスト・ムーン(収穫の月)」というそうです。

9月9日の給食は
重陽の節句&十五夜のスペシャル給食です♪



ぼたもち? おはぎ?



春分・秋分の日とその前後3日間はお彼岸です。お盆などとは違い日本独自の仏教の行事で、奈良時代から行われるようになったとされています。この期間にご先祖様の供養としてお墓参りをするおうちが多いかと思えます。

昔から、春のお彼岸には「牡丹餅(ぼたもち)」を、秋のお彼岸には「おはぎ」お供えする習慣があります。諸説ありますが、「牡丹餅」は大きな牡丹の花が咲く春彼岸の頃に、小豆のこしあんであるんだ餅を牡丹に見立てたもので、「おはぎ」は、小豆の粒が秋の七草の萩の咲き乱れる様子を表しているといわれています。

山梨ブランド!



富士の介

9月22日の給食に登
場します!お楽しみに☆

母親



ニジマス

父親



キングサーモン (和名:マスノスケ)



富士の介 (ふじのすけ)

「富士の介」は山梨県水産技術センターがマス類の中でも最高級とされる「キングサーモン」と「ニジマス」を交配し開発した、山梨オリジナルの魚です。全国各地に数多く存在するご当地サーモンの中でもキングサーモンの血を引く魚は「富士の介」が唯一だそうです。名前の由来は、富士山の「富士」に、標準和名がマスノスケであるキングサーモンの血を引くことから「の介」を重ね合わせ、「富士の介」と名付けられたそうです。



給食室通信



2学期初めはすいかや県産のシャインマスカット、など旬のくだものたっぷりのメニューでした!

8月29日(29ニクの日)は、山梨県のブランド牛肉「甲州牛」を使用した牛肉丼でした☆甘みがあり美味しいお肉を、全校みんなでいただきました!



給食委員会のお仕事

本校の日々の給食活動に欠かせない給食委員会のお仕事を紹介します☆

給食の時間に献立内容や行事食のお話の放送をしたり、全校が給食を食べ終わったあとの片付けを手伝ってくれたりしています。みんなで協力して安全に準備し、美味しく食べ、きれいに片付けられる竜中生を目指しましょう☆

